



# さとく

井原市立井原中学校通信  
第4号 (Web版)  
令和3年3月12日 (金)  
文責: 川上 吉弘

## 【卒業式 式辞より】

やわらかな光の中に、確かな春の息吹を感じられる今日の佳き日、卒業生、保護者、教職員のみという形ではありますが、第62回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、誠に嬉しい限りであります。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは中学校3年間の課程を修了し、9年間にわたる義務教育を終え、いよいよ旅立ちの時を迎えました。

中学校での3か年を振り返ると、様々なことがありました。今年度は、多くの制限の中で工夫しながらも全力で行った体育会、ゼロから知恵を出し合い作り上げた尾道研修、3年生だけで実施となったけれども、思いを込めて取り組んだ体験学習発表会、一人ひとりの脳裏にはそれぞれの思い出がよぎっていることでしょう。

人の一生にはいくつかの節目があります。今日の卒業式もそのひとつです。中学校3か年での自分の成長に胸を張ること。皆さんを温かく、また、厳しく導いてくださったすべての人に対して感謝すること。そして、これからの新しい進路を前に、自分の思いと覚悟を再確認することが今日の卒業式の意義だと思います。

さて、卒業に当たって、みなさんに今後も、とても大切な3つの質問をしたいと思えます。その質問をぜひ覚えておいてください。

- あなたは、何を学びたいのか。
- あなたは何ができるようになりたいのか。
- あなたは、社会の人たちに、どのように役立つようとしているのか。

この3つの問いに対する答えは、あなたの生き方の軸になるものです。答えは成長のステージごとによって変わってくると思いますがそれでいいのです。

感染症対策も含めて、極めて変化の激しい世の中、自分を見失いそうになることがあるかもしれません。そのようなとき、この3つの問いを思いだし、自分の軸、基本を確認し、進むべき道を確認してほしいと思えます。

共に学んだ仲間との絆を大切にしながら、ふるさとを愛しつつ、世界の中で活躍することを心より祈っています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、今日までの学校へのご理解とご協力に感謝を申し上げますとともに、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。

あわせて、本日参加が叶わなかった在校生や多くのご来賓の方々からの祝福の心に思いを馳せながら、卒業生を輝く未来へ送り出したいと思えます。

さあ、卒業生の皆さん、次のステージへの出発の時です。皆さんのさらなる成長と活躍を願い、式辞といたします。

井原市立井原中学校長